

令和5年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

本多 泰邦 議員

◇教育行政

(1) 不登校児童生徒対策について

①令和5年度から新たに実施している不登校児童生徒支援事業について、進捗状況はどうか。

(教育長答弁)

この事業は、美術館や博物館での作品鑑賞や、自然の家など青少年教育施設での自然体験、さらに地元プロスポーツチームとの交流など、子供たちが「行ってみよう」と思える学校以外の「学びの場」を提供し、自己肯定感や自己有用感を育みながら、未来に向けて一步を踏み出すきっかけを作っていこうとするものです。

現在の状況としては、県は関係施設と連携し13のプログラムを準備したところであり、実施主体となる市町は、長崎市、佐世保市を含む10市町が、県のプログラムを活用したり、市町独自のメニューを実施することとしております。

今後も引き続き、子供たちの自発的な行動を促せるような魅力的なメニューの充実に取り組み、まだ手を挙げていない市町に対しても事業への積極的な参加を促してまいります。

②新たに実施する事業の中で、保護者の悩みにも対応できるような仕組みができないか。

(教育長答弁)

本事業においては、多くの不登校児童生徒が保護者同伴で参加することが想定されますので、子供たちの体験活動中に、保護者同士が交流できる場としても意義があると考えております。

さらに、参加者の希望に応じ、現地にスクールカウンセラーを派遣し、保護者に対しても専門的な視点からの助言を行うことが可能であります。

今後、本事業を通して、一人でも多くの子供たちと保護者が「未来への確かな一歩」を踏み出すことができるよう、全力で取り組んでまいります。